



2015年8月4日

各 位

株 式 会 社 I H I
 東 京 都 江 東 区 豊 洲 三 丁 目 1 番 1 号
 代 表 取 締 役 社 長 齋 藤 保
 (コード番号 7013)
 問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 望 月 幹 夫
 財 務 部 長
 T E L 0 3 - 6 2 0 4 - 7 0 6 5

2016年3月期第2四半期連結累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2015年5月8日に公表しました2016年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2016年3月期 第2四半期連結累計期間 業績予想数値の修正(2015年4月1日~2015年9月30日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------------|---------|---------|--------|--------------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) (2015年5月8日発表) | 700,000 | 32,000 | 23,000 | 14,000 | 9.07円 |
| 今回修正予想 (B) | 700,000 | 20,000 | 14,000 | 6,000 | 3.89円 |
| 増減額 (B-A) | 0 | △12,000 | △9,000 | △8,000 | — |
| 増減率 (%) | 0 | △37.5 | △39.1 | △57.1 | — |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (2015年3月期第2四半期) | 616,144 | 28,934 | 32,337 | 20,946 | 13.57円 |

2. 2016年3月期 通期業績予想数値の修正(2015年4月1日~2016年3月31日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|-----------|---------|---------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) (2015年5月8日発表) | 1,580,000 | 90,000 | 75,000 | 49,000 | 31.75円 |
| 今回修正予想 (B) | 1,580,000 | 75,000 | 63,000 | 39,000 | 25.27円 |
| 増減額 (B-A) | 0 | △15,000 | △12,000 | △10,000 | — |
| 増減率 (%) | 0 | △16.7 | △16.0 | △20.4 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2015年3月期) | 1,455,844 | 63,253 | 56,529 | 9,082 | 5.88円 |

3. 業績予想修正の理由

前年度に発生した F-LNG・海洋構造物での一部受注工事の採算悪化については、前連結会計年度に将来悪化分を含めて引当計上しましたが、今年度に入ってから、シンガポール向けドリルシップ船体工事の度重なる図面改正とそれに伴う建造工程遅延に対応するためのキャッチアップ費用の増加、さらに、本工事の工程遅延により後続工事の作業エリア確保が困難となった結果、ノルウェー向け洋上浮体式石油生産貯蔵積出設備（FPSO）船体建造工事の一部で海外への外注化が必要となり、外注費及び輸送費が増加して、採算が大きく悪化することとなりました。

また、前年度に足場（キャットウォーク）の落下事故が発生したトルコ イズミット湾横断橋建設工事についても、前連結会計年度に足場の再製作費用を工事原価総額に織り込みましたが、今年度に入り、建造工程遅延に対応するためのキャッチアップ費用等でコスト増加が発生する見込みとなりました。

このため、第 2 四半期連結累計期間及び通期における各利益段階の予想の修正を行いました。第 2 四半期連結累計期間の営業利益予想では、販管費などの費用発生の期ずれによる好転を、第 2 四半期連結累計期間及び通期の経常利益予想では、持分法投資損益の好転等を見込んでいます。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上